

R6 年度 小規模多機能ホーム砥部オレンジ荘 サービス評価 【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 22 日 (18:00 ~ 18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	4 人	2 人	10 人

前回の改善計画	現在のご利用者、初期支援も含めアセスメントシート(個人ファイル)を全職員月 1 回は確認し、個々の状態の把握に努める。また、初期支援ではご家族との関わりを密に行い、ご利用時の様子、ご自宅での様子について情報共有を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期支援の際はアセスメントシートを元に情報収集を行い、利用者様の不安解消に努め、安心してご利用ができるよう努めることができた。月に 1 回のアセスメントシートの確認は、全職員が実施できておらず、新たな情報を共有することができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	1	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	3	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様になるべく一人にならないよう、積極的に安心できるような声掛けを行っている。 ・家族様と接する事は少ないが、本人の意向を重視し支えることができています。 ・初期支援では表情や言動に気を付けている。職員間で細目に情報共有している。 ・利用開始前にアセスメントシートにて情報を得ることができている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・業務体制により、携わっていない方々もいる。 ・初期支援で家族様とのコミュニケーションが取れていない。会う機会が少ない。 ・アセスメントシートの確認が月 1 回できていない。 ・アセスメントシート等、専門的な部分はまだ理解できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の意見を引き出し、「やりたいこと・したいこと」を感じ取り、個別ケアの実践に努めていく。それにより、小規模多機能型居宅介護計画書にも反映していく。 ・新しい情報は、口頭伝達・ケース記録に残し、情報共有に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 22日 (18:00 ~ 18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	3人	10人

前回の改善計画
初期支援以降、ご利用者・ご家族との関係が築くことができたらセンター方式シートを活用し、更なるアセスメント、したいことを詳しく把握し、「～したい」ことの実現に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々の会話の中から本人の希望を聞いて「～したい」の実現に努めることができました。また、希望があった際は可能な限りすぐに実現することができた。センター方式は実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	3	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	2	3	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	3	2	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	3	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・本人の希望を聞いて、出来ることは行うよう、協力し合っている。・短期目標「～したい」「～が食べたい」と要望が応えられるようは日々応えられるよう努めている。・日常会話の中で何をしたいのか知り、実施できるよう努めている。・「～したい」の実現はこの事業所の強みではないか

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・時期的に、感染症対策等で計画は立てていてもやむを得ず中止になることもある。・センター方式シートの活用ができていない。「～したい」が分かる人、分からない人がいる。・「～したい」の思いが、コミュニケーション不足で異なることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・職員配置の状況をみながら、可能な限り利用者様の隣に座り、普段の会話の中から生活状況等を聞き取る。(コミュニケーションの機会を増やす)・職員の担当を決め、2人1組になり、センター方式を実施し利用者様の「～したい」を把握し、実施できるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 22日 (18:00 ~ 18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	0人	10人

前回の改善計画	ご利用者からの声を待つのではなく、普段の会話で聞き取った情報を元に職員から提案し、ご利用者の意欲を引き出していく。以前の暮らし方で新しい情報があれば、記録に残しアセスメントシートへ追加し、情報収集、情報共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	普段の会話の中から希望を聞き取り、利用者様本位の支援ができた。体調の変化についても職員と情報を共有し、家族様・主治医へ相談し対応することができた。以前の暮らし方は10個以上把握することができず、アセスメントシートへ反映することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	8	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	0	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者側本位ではなく、利用者様本位のケアを心掛けている。 ・体調等異変があった時は、その都度職員に報告し、対応している。 ・本人に合わせた対応・ケアの更新はできている。 ・新しい情報等は、記録で共有できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方の把握、10個以上把握できていない。 ・業務体制にて、訪問に関わっておらず、職員の方から聞くことになっている。 ・以前より把握できるようになったが、10個以上は難しい。 ・新しい情報をアセスメントシートへ追加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援で、自宅での生活環境を観察し、ご本人の発言以外にも情報を収集する。また、訪問ができる職員を増やし、観察する視点を増やしていく。 ・センター方式 (B-3) を活用し、以前の暮らし方の把握に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 11月 22日 (18:00 ~ 18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	2人	6人	10人

前回の改善計画	「広報とべ」、「とべ議会だより」を参考に、地域活動の内容や砥部町の動きを把握する。可能なら、ご利用者と一緒に地域のサロンやボランティア活動へ参加し、地域に根差した事業所を目指す。また、法人内事業所間での交流も行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	広報等により、地域活動の内容や砥部町の動きを把握することができた。また馴染みの理容院へ利用者様と外出もでき、地域参加をすることができた。事業所全体で、地域の情報について共有ができておらず、積極的に地域行事へ参加することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	2	7	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	3	3	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	3	3	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	3	6	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での過ごし方について何うように心がけている。 ・広報等により、地域活動の内容や砥部町の動きを把握することができた。 ・生活スタイル、人間（家族）関係、直接接していない時間の情報は、ご利用時に関わるときに会話の中から伺っている。 ・地域サロンなど利用者様と参加することができた。 ・生活スタイル等は、最初に情報を確認し理解してから関わるようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策等で、制限があることもあり地域参加が中止になることもあった。 ・地域とのコミュニケーション不足がある。 ・利用時間外のことは、分からない事が多い。 ・利用者様が自宅で生活している時の、地域での暮らし方が把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が「どこまで支援してくれるのか。一緒に馴染みの地域行事へ参加してくれるのか。」という意見があった為、支援内容について再度説明し、「実はここの行事に参加してみたかった。」等の意見を引き出し、可能な限り利用者様と一緒に地域へ出向いて行く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(18:00～18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	5人	10人

前回の改善計画
運営推進会議や砥部地区福祉活動推進懇談会へ役職者だけでなく一般職員も参加し、地域住民との関わりや地域資源についての把握に努める。また、ご利用者の希望があれば出来る限りすぐに計画を立て、柔軟な支援が出来るよう努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議には一般職員も参加し、地域住民との関わりを持つことができた。ご利用者のニーズに合わせて柔軟な支援を行うことが出来たが、地域資源の把握が出来ておらず資源を使っただけの支援はあまり行うことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	2	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	4	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">その日の体調等に合わせ静養室で休んで頂いたり、入浴も調整することができた。その日、その時のニーズに合わせて、本人の希望をできるだけ叶えることができた。本人に合わせて食事や訪問、通いの時間をずらし対応した。ご利用者の変化は口頭伝達、職員会で共有することができた。運営推進会議にて地域住民と関わる事ができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域資源の理解、把握が出来ていなかった。勤務体制によって、ご利用者の希望をすぐに対応出来ない時があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">広報誌等により、地域資源の把握、理解に努め、ご利用者と出向き地域住民との交流ができるよう努めていく。また、今後も運営推進会議や地域懇談会へは一般職員も参加し地域との関わりを繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(18:00～18:30)

6. 連携・協働

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	0人	7人	10人

前回の改善計画	地域イベントやサロンの情報を広報誌や地域会議に参加し、情報を集めご利用者と共に参加し地域との関わりを増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	学びクラブ、砥部町福祉フェスタの参加により、地域との関わりを増やすことができた。しかし地域会議やサロン・イベント等に参加する機会が少なく、積極的に地域と関わりも持つことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	1	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	1	6	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	1	1	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	3	2	3	100

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・学びクラブにて高齢者、子どもと交流ができている。 ・利用者、家族からの意見は反映されている。 ・訪問時、近所の方々がいると必ず挨拶をしている。 ・地域でのイベントへの参加はできている、多職種との関わりもあった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・勤務状態や業務により携わっていない ・会議や地域のイベント等に参加できていない ・積極的に地域との取り組みを行っていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・学びクラブでは事業所開催にて、高齢者と子どもとの繋がり、また地域との関わりを継続していく。地域イベントへ参加できるよう、ご利用者からも情報を聞き取り、馴染みのある地域へ出向いて行けるよう取り組む。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(18:00～18:30)

7. 運営

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	2人	5人	10人

前回の改善計画
ご利用者、ご家族との関わりについて、担当者会議にケアマネジャーと、もう一人職員と一緒に参加しご家族と関わる機会をつくる。また、訪問時にご家族との会話の中でこちらから、今、気になることはないか積極的に話かけ、職員とご利用者、ご家族とのコミュニケーションの場を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
送迎、訪問時には家族様と積極的にコミュニケーションを取ることができ、送迎時間の相談、急遽の訪問対応等することができた。担当者会議の開催には、ケアマネジャー以外の職員の参加ができておらず、新たに家族様と関わる機会を増やすことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	2	3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	1	2	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	4	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	3	3	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・事業所の在り方について、改善点等、意見を言うことができている。・家族様とのコミュニケーションは送迎、訪問時に積極的にとれている。・子育て支援団体と協働して学びクラブを開催し、開催場所が一つの拠点となっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・担当者会議にはケアマネジャーのみの参加となっている。・家族様とのコミュニケーションはもっと増やしていきたい。・家族様以外と方たちとコミュニケーションを殆どとれていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・担当者会議には職員も参加し、新たに家族様と関わる機会をつくり、情報交換に努める。また、送迎・訪問には出来るだけ対応できる職員を増やし、関わる職員が一定にならないよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(18:00～18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	4人	10人

前回の改善計画
事業所内で、南海トラフを想定した研修、危険予知トレーニングにて日頃のケアでどこに危険が潜んでいるのか話し合う。スキルアップの為に、愛ケアが主催する外部研修も活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果
四国老人福祉学会や愛媛県老人福祉施設大会に参加し、自事業所以外の取組みを学び、スキルアップに繋げることができた。南海トラフを想定した研修や危険予知トレーニングは行えておらずリスクマネジメントに取り組むまではできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	2	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	6	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	7	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	2	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットを共有し、対策ができています。・外部研修や施設内の感染症研修には参加できた、職場内研修への参加もできている。・自己学習にて、動画でレクリエーション活動、介護知識を見て参考にしている。・防災、避難訓練はできている。研修への参加もできた。リスクマネジメントには取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部研修の参加は積極的にできていない。・地域連絡会等、参加できなかった・事業所内で南海トラフを想定した研修等ができていない。・地震対策で家具の固定や、窓ガラスの飛散防止対策ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・今後も外部研修へ積極的に参加し、スキルアップに繋げ、取り入れたい内容は事業所へ還元していく。職員会にて危険予知トレーニングを行うことで、リスクマネジメントに取り組むよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(18:00～18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	1人	9人	10人

前回の改善計画	成年後見制度について、事業所内で研修を行い基礎から学んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度についての研修が行えておらず、事業所内で知識を深めることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	0	0	0	10
②	虐待は行われていない	10	0	0	0	10
③	プライバシーが守られている	8	2	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	10	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">虐待、身体拘束等の研修に参加し日頃から気を付けている。本人の意見を尊重しケアにあたっている。身体拘束、虐待は行われていない、プライバシーを守っている。一人ひとりプライバシーに合わせて配慮している。内部研修等で知識内の行動は遵守できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">成年後見制度の理解ができていない。成年後見制度を活用されている方がいないので関わる機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">職員会で、成年後見制度についての研修の機会を設け、基礎から学んでいく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための介護サービスを提供します」「多様化する生活ニーズに対応し、利用者とその家族を支えます」「多世代が集まる居場所となり地域住民と共に支え合います」を方針とし、自宅で生活をする利用者やその家族に寄り添い、「通い」「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を目指す事業所です。
事業所名	小規模多機能ホーム 砥部オレンジ荘	管理者	岡本将宗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	0人	0人	1人	1人	10人	0人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○ご利用者の以前の暮らしを把握すること、またセンター方式を活用して利用者主体のサービス提供ができるよう、情報収集し職員間で共有をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の以前の暮らし」の把握の為、日々の会話の中で聞き取った情報はケース記録に残し情報共有することができた。 ・センター方式の活用はできておらず、ご利用者一人一人の詳しい把握までには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1回運営推進会議に参加するだけでは、評価するのが難しい。 ・特にコロナ以降、砥部オレンジ荘と常に関わっているわけではない。そういう関係では取り組み自体分からない。評価をするにあたり多少なりとも交流が必要ではないか。 	○改善計画を職員と共有し、改善に向けた取組みを職員会議で話し合い、できることから実施しながらサービスの質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	○リビングからウッドデッキへ自由に行き来が出来る開放的な空間を作り、園芸や農作業を行うことで、楽しみがもてる空間を目指していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に行き来できる空間にて、ウッドデッキでご利用者同士がゆっくり過ごすことができる環境が継続してできた。 ・実際にご自分で外に出て散歩をされる方がおられるが、転倒リスクや職員が気付かないことがある。今後はセンサー等で早期発見できる対策も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキは開放的で、ご利用者ものびのびと過ごされていた。畑もご利用者と上手に作っていると思う。 ・開放的な空間はいいと思うが、開放的がゆえに課題はないのか？ 	○リビングからウッドデッキへ自由に行き来が出来る開放的な空間を作り、ご利用者と一緒に園芸や農作業を行うことができる。 ○開放的なことで起こりうるリスクを考え、対策を立てることができる。
C. 事業所と地域のかかわり	○サロンやカフェ等地域の行事やイベントへご利用者と参加し、地域交流を図り地域住民との関わりや事業所を知ってもらうことで、相談しやすい関係性を目指していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を配る際は、町外の事業所に行く事が多く、自ら町内へ出向くことが少なく、事業所を知ってもらう活動はできていない。 ・地域の行事に、職員が参加することはできたが、ご利用者と一緒に参加することはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスに繋がりにくいご利用者でも、相談しやすい事業所になっていると思う。 ・まずは砥部オレンジ荘から近い地域との交流が、大切ではないか。そこから徐々に地域を広げていく方がいいと思う。 	○事業所から近い近隣住民へ広報誌を配り、活動及び地域の方々に事業所を知ってもらうことができる。 ○学びクラブ等、気兼ねなく地域の方々が訪れやすい事業所を作る。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>○住民座談会等へ定期的に参加し、地域の実情やイベント等の情報を把握する。そして利用者の以前の暮らしや、現在の望む暮らしを理解し、一緒に地域へ出向いていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民座談会の参加することで、民生委員とご利用者の情報を共有できた。また各地区のイベントや行事を知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で地域住民を対象とした座談会を開催しているので、出席してもらえれば、地域との関わりも増えると思う。 ・ご利用者と地域へ出向くのが難しいときもあるので、職員がまずは参加して繋がりを作ってあげればいいと思う。 	<p>○まず事業所から近い地区の清掃等の行事へ職員が参加する。そして地域の方々に事業所や職員を知ってもらい、ご利用者と地域の行事やイベントに参加できる環境をつくる。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>○運営推進会議の活用の幅を広げ、地域住民から出た意見を一緒に考え、必要に応じ行政機関と連携をとり、改善を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の内容に変化がなく、地域住民が発言しやすい環境ができなかった。 ・行政機関と連携し、ご利用者の支援について地域ケア会議を開催し、認知症の理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意見を、運営推進会議にて聞き出すことができていない。 ・運営推進会議の内容の見直しも必要ではないか。 	<p>○事業所の活動や取組みを運営推進会議にて発信することができる。</p> <p>○地域住民から出た意見を一緒に考え、必要に応じ行政機関と連携をとり、改善を図ることができる。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>○運営推進会議にて防災訓練の報告を行い、砥部オレンジ荘の訓練内容を理解して頂く。また地域の方への訓練参加の呼びかけ及び砥部町総合防災訓練へ参加することで、地域と支え合える関係性をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフの避難所等で法人の防災訓練は行っているが、事業所として自ら地域の防災訓練に参加出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて防災訓練の報告はしているが、訓練に参加したことはない。 ・実際に地域住民に何を手伝ってもらいたいのか、具体的に教えてもらった方が動きやすい。 	<p>○BCP を含めた災害計画を職員間で共有し 災害発生に備える。</p> <p>○施設の防災訓練に民生委員など地域住民の参加を依頼する。</p>

